
まいにち五行歌

しんどうみずき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まいにち五行歌

【Nコード】

N6844K

【作者名】

しんどうみずき

【あらすじ】

あまりメジャーではないと思いますが、五行歌というものをやってみようと思います。
たった五行で紡ぐ詩は、きっと新しい発見をさせてくれることでしょう。

はじめに

「五行」とは木火土金水の五種類の元素のことであり、天地万物はこの元素がたがいに影響を与えあい、その生滅盛衰によって変化し、循環すると考えられている。

四季の変化は五行の推移によって起こると考えられた。また、方角・色など、あらゆる物に五行が配当されている。そこから、四季に対応する五行の色と四季を合わせて、青春、朱夏、白秋、玄冬といった言葉が生まれた。詩人、北原白秋の雅号は秋の白秋にちなんだものである。

五行説と陰陽説が統合されて陰陽五行説が成立した段階で、五行が混沌から太極を経て生み出されたという考え方が成立して、五行の生成とその順序が確立した。

- 1．太極が陰陽に分離し、陰の中で特に冷たい部分が北に移動して水行を生じ、
- 2．次いで陽の中で特に熱い部分が南へ移動して火行を生じた。
- 3．さらに残った陽気は東に移動し風となって散って木行を生じ、
- 4．残った陰気が西に移動して金行を生じた。
- 5．そして四方の各行から余った気が中央に集まって土行が生じた。というのが五行の生成順序である。

そのため五行に数を当てはめる場合五行の生成順序に従って、水行は生数が1で成数が6、火行は生数が2で成数が7、木行は生数が3で成数が8、金行は生数が4で成数が9、土行は生数が5で成数が10、となる。

なお木行が風から生まれたとされる部分には四大説の影響が見られる。

……以上、ウィキペディアからの抜粋と改編でした。

真面目に読んでくれた方はありがとうございます。そして御免なさい。さらにお疲れ様。

えーと、私が書きたいのはそういうことじゃなくて、つまりは五行歌なんですな。

本物の定義はこちらです。

五行歌ごきょうかとは、『古事記』、『日本書紀』に遺されていた古代歌謡、和歌を日本の詩歌の原型として現代に生かした新詩型。一行を一息で読める長さとしての一句として五行で書くという規定以外にいつさいの制約がないことを基本としている。行分けによる呼吸論に着目して個々の独自性と理想型を目指した詩歌形式を創始者草壁焰太が発案し、定着させた。短歌や俳句のような呼吸が一定の音数律詩歌の音数規定を外し音数を自由にすることにより、詩歌の言葉運びやフレーズ運び、行運びによる各自の呼吸運びに創造性をもたせ、詩歌としての言葉を生き生きと甦らせている。

これまたウィキペディアからの引用でした。

要約すると、5、7、などの音にとらわれず、好きなことを五行でまとめろってことです。

ただし長すぎない程度で。

どうしてまたこんなマイナーな文体で書きたいかと言うと、読売新聞の五行歌のコーナーを見ていて、その素晴らしさに心打たれたためなんです。

優しくて、温かくて、なんだか人間臭いんです。

それはたぶん、選者さんの趣向もあるんでしょうけど、とにかく私はそれを目指してみたいと思います。頑張ります。

それでは、拙いですがご覧ください。

はじめに(後書き)

そねどは、ぶいぬ。

其の壱（前書き）

まだまだ見習い程度ですが、読んでいただければ幸いです。
少しでもこのスタイルの魅力を伝えられたらな、と思います。

其の壱

3月31日

どこかで

さくらに雪が積もった

きつとどこかで

今日もつぐいすが鳴いているのだろう

冬風に身をまかせながら

4月1日

新年、新年度、半月

そうやって区切りばかり付けて

なんでもかんでも引き延ばしにするのは

たぶん毎日を

大切にしたいと思っているからなんだろう

4月2日

新たな道を見つけた。

スタートから望む未来はとても明るく見えた。

横一列で走り出した私たちが

つまづいて転んでまた起き上がって

そうやって季節は流れていくのだ。

其の壱（後書き）

たぶん更新は3日に1度くらいになると思います。
字数が足りないもんで……。

其の貳

4月3日

満開のさくらの下で

老人たちが花見をしていた

食べや踊れやの大盛り上がり

その横で刹那に散っていく花弁が

なぜだろう、楽しげに見えた。

4月4日

縁起を担いで

ラッキーカラーに身を染めてみた

空を見上げて気付いたのは

世界というのが美しい場所で

毎日は楽しいということなんだ。ラッキー。

4月5日

真新しいランドセルを背負った小さな子どもたちが

いろんな表情をして出ていった

不安、うれしい、緊張、期待

私に浮かんでいたのは

柔らかな微笑みだった

其の弐(後書き)

春ですねえ。

難しいですけど、短いのをいいことに頑張りたいと思います。

其の参

4月6日

あなたに

会えなくて寂しいわと

受信ボックスをいっぱいにした

携帯電話が

笑った

4月7日

桜は

いつしか

葉桜に

ただちよっと

早すぎる春が哀しかった

4月8日

本棚に並んだマンガ

きちんと整列した巻数

一つだけすっぽりと抜けた本は

友達に持って行かれた

黄ばんだページ、私は還暦

4月9日

泣いた子供

マスクをした学生

頑張った漫画家

パソコンに向かう僕

みんな兔みたいに目が真っ赤

字数が足りないので、ちょっとしたつぶやき。今までのはいささか長すぎた。毎日新聞に載せてくれればもっと精進できるんだけどなあ……。

其の参（後書き）

ええい、いろいろ間違えた！
ほんの一瞬だけど、面倒くさいシステムだぜ（お前が悪い

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6844k/>

まいにち五行歌

2010年10月9日00時04分発行